真昼の花（2005）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 85分
初公開日 2005/10/08
公開情報 カエルカフェ

【キャッチコピー】
死ぬって　怖いね・・・　　そんなこと　はじめて思った。

【解説】
　沖縄など南の島を舞台に自分探しの物語を数多く手掛けている秋原正俊監督が、人気作家・角田光代の同名中編を映画化。放浪する兄を追って沖縄へと旅立った一人の女性が、様々な人々との出会いを通して自分を見つめ直していく姿を描く。主演は森下千里。Toshiba Web Streetにて20回に分けてweb配信された後、劇場でも公開となった。
　母と兄との３人暮らしをしていた「私」。ある日、兄が家を出ていき、その後母も急死してしまい、「私」は突然独りぼっちとなってしまった。「私」は会社を辞め、兄を探して沖縄でバックパッカーとなった。気ままな放浪生活を送っていた「私」だったが、ある時、有り金のほとんどを入れていたカバンをどこかに置き忘れてしまうのだった。手元に残ったわずかな金を見て急にやるせない気持ちになる「私」。そんな時、自分と同じバックパッカーの女性アキコと出会う…。

【クレジット】
監督 秋原正俊
原作 角田光代　『真昼の花』（新潮社刊）
脚本 落合雪恵
撮影 中村健勇
音楽 エミ・エレオノーラ　Emi Eleonola
歌唱 真梨邑ケイ
照明 兼城明盛
出演 森下千里
小林桂
黒田アーサー　Arthur Kuroda
梅津和時
伊藤裕子
大西麻恵
エミ・エレオノーラ　Emi Eleonola
スティーヴ エトウ　Steve Eto
声の出演 戸田幸延

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.